

# 令和4(2022)年度の労働相談状況について

令和5(2023)年10月20日  
栃木県産業労働観光部労働政策課

県では、県内4か所の労政事務所及び労働政策課において、労働条件や職場における人間関係など労働問題全般にわたる幅広い相談に応じています。  
令和4(2022)年度の労働相談状況を取りまとめた結果は以下のとおりです。

## 1 労働相談件数

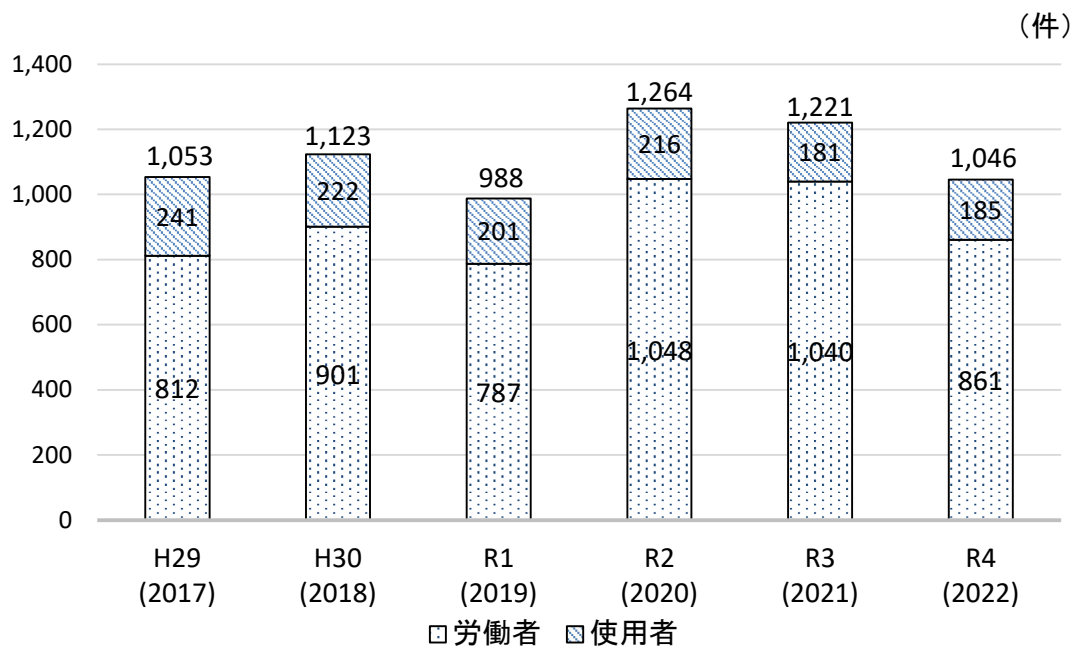
令和4(2022)年度の労働相談件数は1,046件で、前年度と比べると175件(▲14.3%)の減であった。

図-1 (件)

年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)
労働者	812	901	787	1,048	1,040	861
(構成比)	77.1%	80.2%	79.7%	82.9%	85.2%	82.3%
(対前年度比)	104.1%	111.0%	87.3%	133.2%	99.2%	82.8%
使用者	241	222	201	216	181	185
(構成比)	22.9%	19.8%	20.3%	17.1%	14.8%	17.7%
(対前年度比)	84.6%	92.1%	90.5%	107.5%	83.8%	102.2%
計	1,053	1,123	988	1,264	1,221	1,046
(対前年度比)	98.9%	106.6%	88.0%	127.9%	96.6%	85.7%

図-2

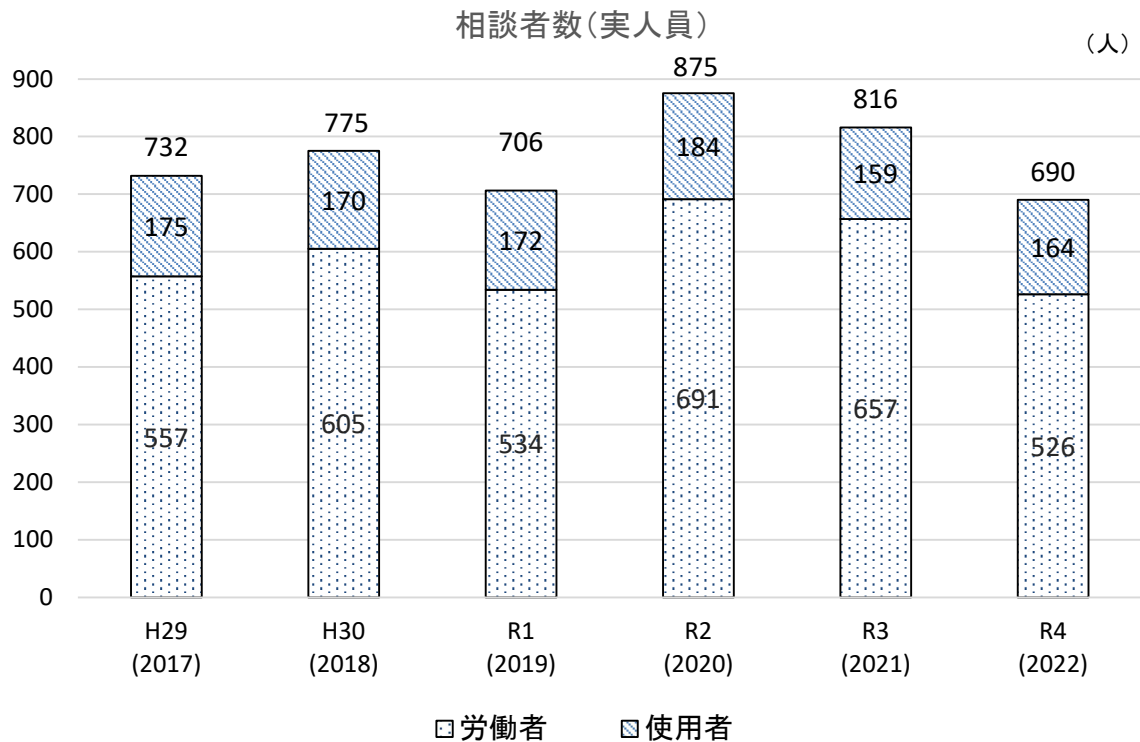
## 相談件数



## 2 労働相談者数

令和4(2022)年度の労働相談者数は690人と、前年度の816人に対して126人(▲15.4%)の減となった。そのうち、労働者からの相談が526人で、前年度の657人に対して131人(▲19.9%)の減であった。使用者からの相談は164人で、前年度の159人に対して5人(3.1%)の増であった。

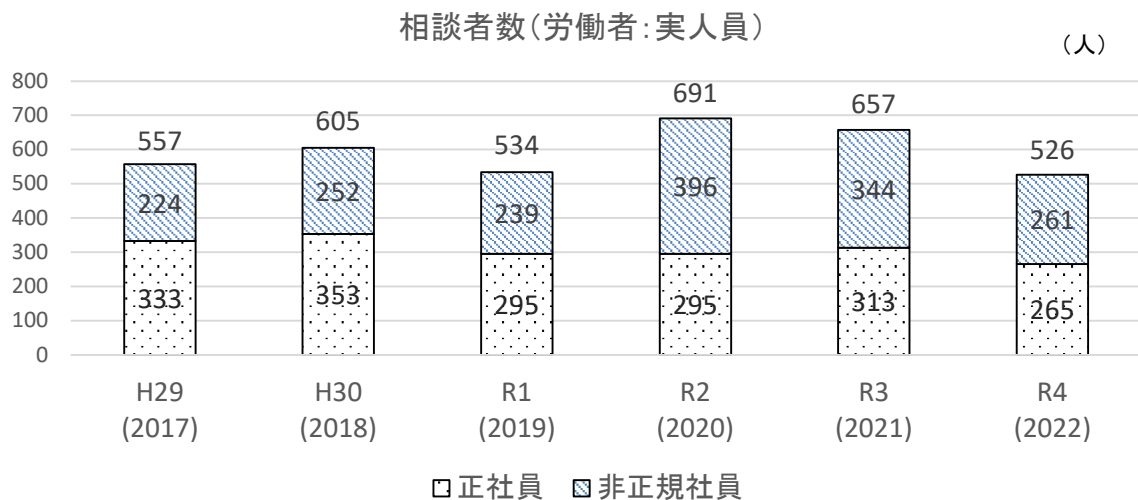
図-3



令和4(2022)年度の労働者からの相談のうち、正社員からの相談は265件であり、前年度の313人に対して48件(▲15.3%)減少した。

一方、非正規社員からの相談は、261件であり、前年度の344人に対して83件(▲24.1%)減少した。

図-4



### 3 相談内容別件数(労働者)

労働者からの相談(861件)は、「労働条件」に関するものが58.0%と最も多く、次いで、パワハラ・いじめなどの「人間関係」となった。

「労働条件」の内訳では、「労働時間等」が29.3%と最も多く、次いで、「賃金」、「解雇等」、「退職金」の順であった。

図-5

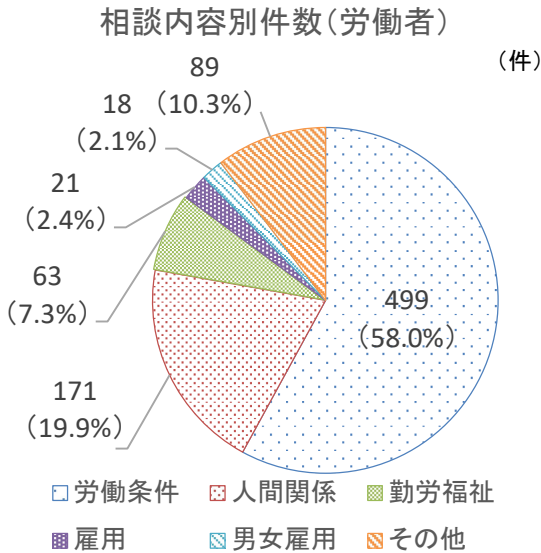


図-6

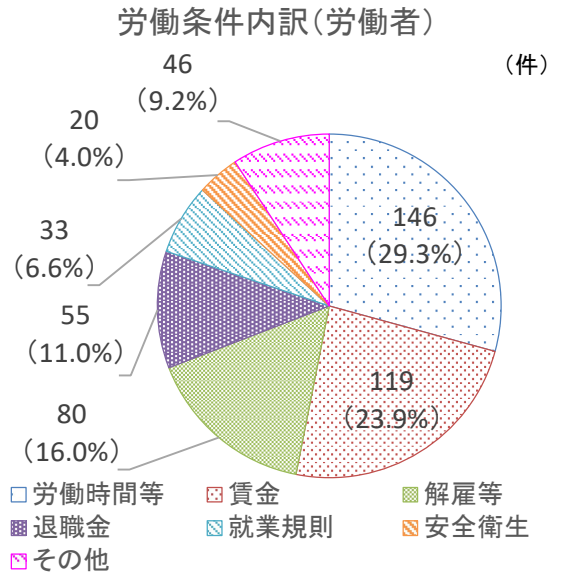


図-7

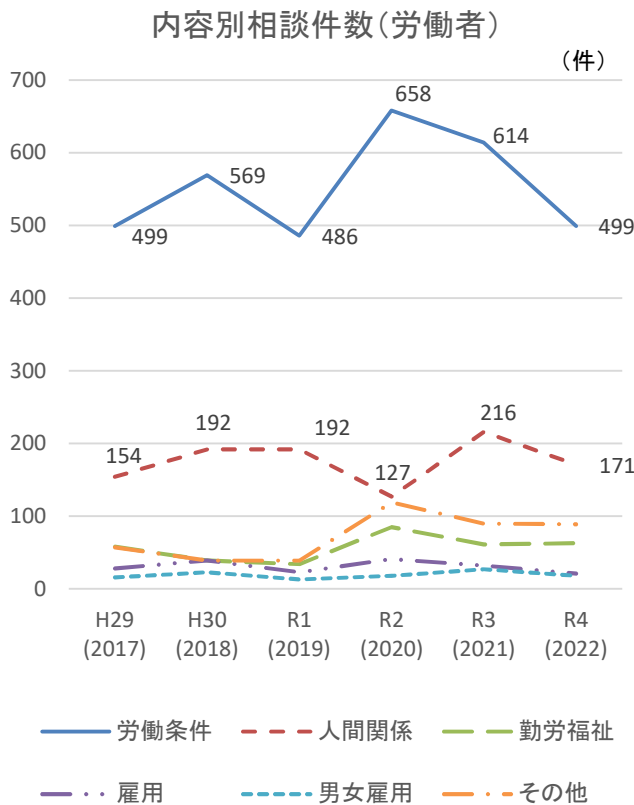
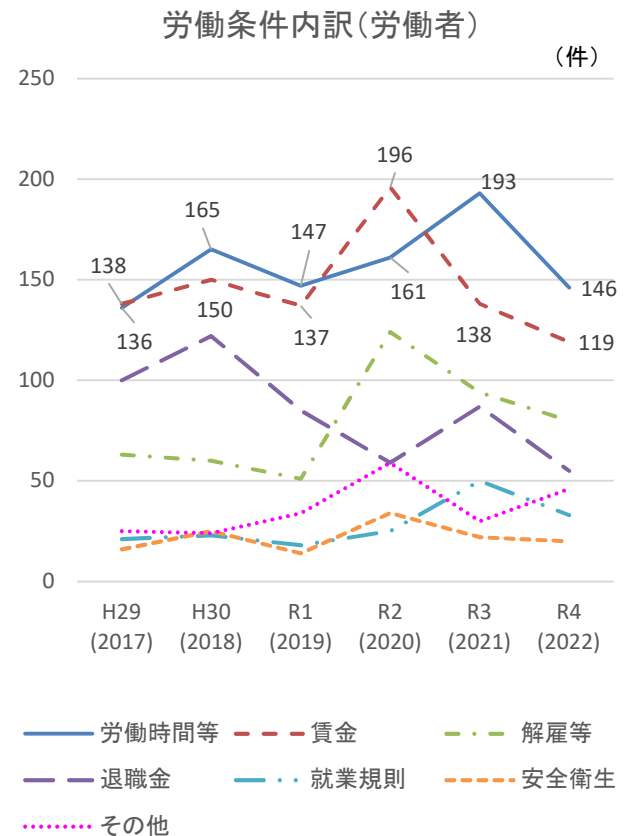


図-8



## 4 相談内容別件数(使用者)

使用者からの相談(185件)は、「労働条件」に関することが88.6%と最も多く、その内訳では、「労働時間等」の相談が81.1%であった。

図-9

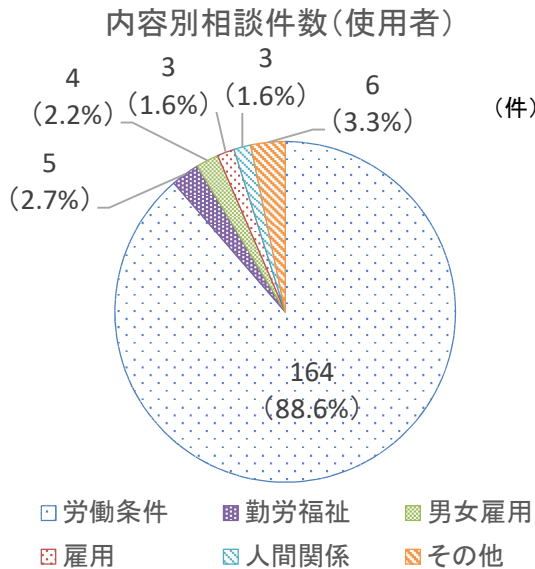


図-10

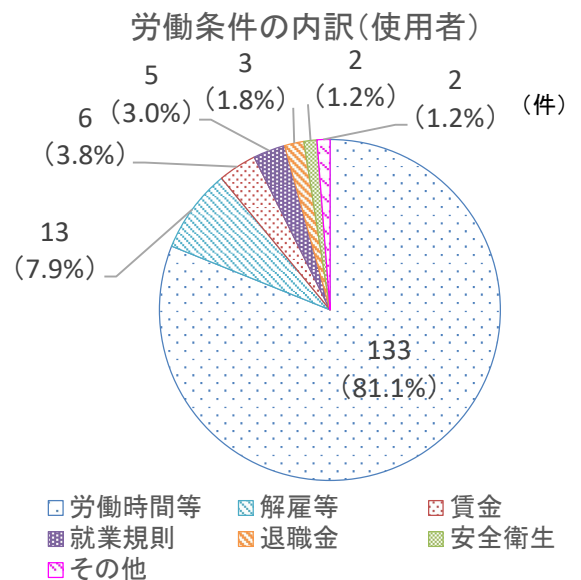


図-11

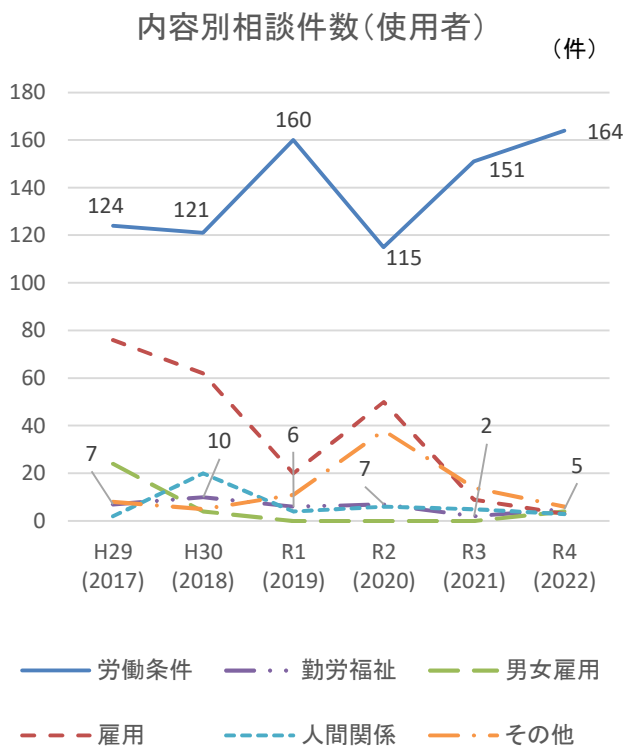


図-12

